

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30~18 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	4	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	8	3	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	10	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>CM や介護リーダーがアセスメント面接で得た情報や支援内容(案)をまとめ、スタッフ全員に紙面と口頭にて情報提示しており、急な利用開始などで利用開始前にミーティングの時間がとれない時はサービス手順書などを作成して支援内容のおおまかな流れをつかめるよう工夫している。</p> <p>必要な支援をするため、よく話を聞き柔軟な対応をするよう心掛けている。</p> <p>また、不安にならないような声掛け、送迎時の家族とのコミュニケーションを大切にしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>急な利用開始時に情報が追いつかなかったり、申し送りが上手く伝わっていないことがある。</p> <p>本人と家族・介護者との思いが別にあたり対極にあたりする場合、必要としている支援が定まらず十分な支援ができていないことがある。</p> <p>利用者との関係づくりに集中してしまい、家族とのコミュニケーションを意識的にとることができていないこともある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成担当者や介護リーダーだけではなく、スタッフ全員が通いの送迎時などに意識的に家族とコミュニケーションをとることを心掛ける。</li> <li>・利用相談から利用開始までの間に、本人及び家族の想いやニーズをスタッフ全員がしっかりと把握できるような申し送りを行う。</li> <li>・記録や申し送りノート、サービス手順書だけでは伝わらないと思われる場合は、口頭や掲示にて必要な情報を共有する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年7月13日(17:30~18:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 管理者1名 ケアマネージャー1名  
リーダー2名 職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	5	7	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	8	2	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	7	4	1	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	6	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の目標や実現したいことを理解し、また本人の言動から心の内を知るように努力して出来る限り実現しようと考え動いている。希望をサポートできるように個別対応となってもできるだけ対応できるようにしている。</p> <p>スタッフからの意見を集約し、本人や家族・介護者との話し合いのもと柔軟にプラン変更をして本人の目標を目指した関わりを行っており、個人記録の見返しや会議での意見交換にて日々の関わりを見直すことができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>目標はわかっているが、スタッフの忙しさからその関わりができていなかったり、代わりにしてしまっていることで本人の目標の達成を妨害してしまっていることがある。</p> <p>なかには目標やしたいことを常に頭に入れているというところまでいっておらず、介護職員同士で情報を共有できていないため、目標とずれることを恐れて行動できなくなっていることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の目標をまとめるなどして、各利用者が目標を達成できるような関わり方を意識的に行うようにする。</li><li>・関わりの内容は定期的に職員間でミーティングを行い、間違った関わりとなっていないか、毎日変化する行動や言動についての共有ができているかということを見直し、次の対応に活かせるようにする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30~18 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	3	6	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	6	2	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	8	1	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>普段の様子と少しでも違うと感じたり、気になる点があるときはすぐに CM・NS・CW に相談し、状態変化をチーム内で共有できるよう心掛けている。また、その心身状態に合わせて柔軟にかかわりを変えて、必要な支援を提供している。すぐに相談できないような時やその場にはいないスタッフに状況変化を申し送るために申し送りノートを活用したり目につく場所 2~3 ヶ所にメモを貼ったりすることで伝達共有している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用開始時のアセスメントをはじめとして、日々の関わりやモニタリング訪問時に本人や家族から「以前の暮らし方」を聞こうとしているが、把握することが難しい。 また、認知症などの疾患が原因で、困っていることややりたいことを理解できないことがあったり、変化に気づいていても記録や伝達ができず、共有できていないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所理念の「ささいなことや気持ちの変化を見逃さず」という言葉通り、気づいた変化についてはすぐに報告・連絡・相談もしくは申し送りノートでの共有化を図る。</li> <li>・「以前の暮らし方」を意識的に把握するような関わりをもち、たくさんの情報によって支援の幅を広げる。</li> <li>・変化に対する即時的な支援ができるよう、気になることはすぐに相談や報告をすることとし、他スタッフの違う視点からの支援へのアドバイスを聞くようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30~18 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	3	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	8	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	5	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>通い利用以外の時間帯に自宅から行方不明になった際には警察への協力依頼をおこなうと共に周辺の捜索をおこなったり、自宅で体調不良となったとの訴えがあった際は訪問して必要な処置をおこなうこととしている。</p> <p>馴染みの店での買い物や、行き慣れた美容室の利用、主治医の受診などを継続して行えるような支援ができており、本人・家族の許可を得た上で、必要に応じて近隣の方に本人の時間の奏の利用についての情報を提示し、緊急時連絡先として時間の奏での連絡先を伝えている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>これまでの生活スタイル・人間関係や、地域の資源等の把握ができてない。また現在の自宅における過ごし方を把握できていないこともある。本人や家族からの訴えがあり、通い以外の時間帯の緊急対応をしたり、地域との関係が切れられないような支援をすることはしているが、情報が少ない中で、地域との関係が切れられないような支援を積極的にすることはできていない。</p> <p>民生委員等の地域との関わりは計画作成担当者がやることだと思い込んでいたため、その場だけの対応になってしまいがちである。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員や地域とのかかわりを計画作成担当者が行った際は、その内容を必ずスタッフ全員で共有することとして、その後の各スタッフの対応が可能になるようにする。</li> <li>・通いの送迎時や訪問時に家族と会った際には、各スタッフが意識的に本人の生活スタイル・人間関係についての話をするようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30～18 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	5	2	3	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	3	0	3	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	8	3	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	6	6	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の状態に応じたサービス提供を柔軟におこなっており、状態変化についても即時スタッフ同士で話し合うことができている。また複数のボランティア団体の協力を得て、通いのサービス提供を行っている。本人の希望していることに気づいた際は、リーダーや CM にすぐに報告し、可能な限り実現できるよう努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>変化に気づけていないことがあったり、気づいていてもミーティングで情報を共有しなければという思いがうすい。 自分たちの事業所で支えなければいけないという思いが強く、地域の資源を使って支援するという意識がなかった。 スタッフ不足から、柔軟な支援ができないことがある。また柔軟な対応をするための引き出しをもっておらず、対応の変更に関してはリーダーや計画作成担当者に任せたり指示を待ったりしてしまっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の記録を充実させ、聞き取った情報やささいな変化についても可能な限り記入し、支援に役立てるようにする。</li> <li>具体的な地域の資源を知り、地域の資源活用によってさらに柔軟な支援を提供できるようにする。</li> <li>対応の変更は指示を待つのではなく、各スタッフが意見を提案できるようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30~18 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	2	1	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	1	10	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	4	2	7	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	3	1	3	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
レクリエーションを計画する際に、ボランティアの協力を得るような行事を入れたり、保育園児が参加しやすいような行事計画をたて、定期的な交流をもつようにしている。 地域の文化祭に作品を出展したり、管轄の消防署の協力を得て消防訓練を行っている。また自治会に所属しており、自治会の消防訓練や地域清掃に参加している。 中学生の職場体験学習を受け入れたり、運営推進会議を開催して地域住民の意見を聞く機会をもっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議は事業所としては開催しているが、スタッフは会議に参加していない。 自治会の活動には参加しているが、事業所からの参加が少人数で良いため、全員のスタッフが参加しているというわけではない。子ども 110 番のコーンを設置しているが、登録者以外の地域住民の事業所への訪問も対象者や機会が限られていて、日常的なものにはなっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・会議の議事録をフローに置くなどして、会議内容をスタッフが閲覧しやすい環境にする。 ・スタッフも順番に会議に参加するようにする。 ・登録者以外の地域住民が事業所に立ち寄れるような企画をするなどして、日常的に関わりを持てるように工夫していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年7月13日(17:30~18:00)

7. 運営

メンバー 管理者1名 ケアマネージャー1名  
リーダー2名 職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	4	4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	0	5	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1	5	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	2	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者、家族・介護者からの意見や苦情を受けた場合は、速やかに介護リーダー、ケアマネに報告しスタッフ間で共有してサービスに反映することができる。</p> <p>月1回のサービス推進会議で自分の意見を伝え、他の職員の意見を聞き、より良いサービス提供が出来るように心掛けている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域と協働した取組みを行っていきたいと思っているが、それが何なのか分からない。地域の方からのご意見をいただく機会が少なく、地域の困りごとを解決できる事業所になりたいと思っているが、運営に反映できていない。</p> <p>家族は感謝の言葉は伝えてくれるが、苦情や意見を伝えて下さることが少なく、伝わってこないためそういう場面にあたっていないと思っていた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族からの苦情や意見が事業所に伝わりやすいように、定期的にアンケートなどを実施する。</li> <li>・滋賀の縁創造実践センターのモデル事業「フリースペースかなで」(不登校児童の居場所づくり)への取組みを通じて、地域に必要とされる拠点となることを目指していく。</li> <li>・ボランティアで事業所に来ていただいた方から意見をいただく。</li> <li>・以前実施していた認知症家族のためのほっとスペースのような企画をおこない、地域からの意見を収集できるようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30～18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	3	3	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	2	6	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	11	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	4	3	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ひやりはっと報告は気づく度に提出し、ファイルに綴じてある他のスタッフが書いたひやりはっと報告も読むようにしている。 社内の階層別研修や資格取得対策講座、各種社外研修に参加して、他事業所の取組みなどを聞き自事業所の運営の参考にしている。 転倒リスクや利用者間のトラブルのリスクをいち早く察知し、環境を整える等配慮を速やかに行っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ひやりはっと報告をあとで記入しようと思ってそのまま忘れてしまい、結局提出できていない。 地域連絡会があるのは知っているが、自分が参加をするものではないと思っており、参加できていない。 社内研修はあるが、数が限られているため未受講のスタッフの参加を優先していると自分が参加することができない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・全職員がひやりはっと報告をこまめに提出する意識をもつ。 ・報告書を書くことだけにとどまらず他スタッフが書いた報告書を読むことをし、再発予防や仕事の取り組み方を変えることにつなげるようにする。 ・同じような内容のひやりはっと報告が起こっている時は、臨時で会議などを行い、サービスの質を向上することを心掛ける。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 13 日 (17 : 30～18 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名  
リーダー 2 名 職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	2	0	14
②	虐待は行われていない	14	0	0	0	14
③	プライバシーが守られている	9	4	1	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	2	1	3	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	2	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束・虐待の定義を理解し、離設リスクの高い利用者がいてもスタッフの数が少ない時以外は玄関や窓の施錠はしないよう心掛けている。</p> <p>必要時以外に個人情報が出ないように注意を払い、またプライバシーに配慮しながら、思いやりと尊厳の気持ちをもったケアをしている。</p> <p>必要な方には成年後見制度を提案・活用し、後見人と相談し連絡をとりながらサービスを提供している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者の安全確保を優先し、ベッドからの転落リスクが高い方に夜間就寝時にベッドが落ちないように柵をすることがあったり、時間がなくてバタバタしている時などにスピーチロックをしてしまっていることがある。</p> <p>トイレの使用時に施錠せずに使用する利用者に対して対策をとっていないため、他利用者が間違っってドアを開けてしまうことがある。耳が遠い利用者に対して大声でトイレの声掛けをしてしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや風呂の使用中表示の仕方を変更する。</li> <li>・スピーチロックにならないよう、別の言葉に置き換えるよう配慮する。</li> <li>・身体拘束とならないための方法を会議などでしっかりと議論し、必要のない拘束を行わない意識を強く持つ。</li> </ul>	